

事業所における自己評価表（公表）
（児童発達支援）

公表：平成30年 3月30日

事業所名 上ノ国町子ども発達支援センター

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	工夫している点や改善内容
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか。	6			・活動内容や利用者の状況を考慮しながら、健康づくりセンターなどの広い施設を利用しています。
	②	職員の配置数は適切であるか。	6			・法令で必要とされる人員配置基準を満たした職員数を配置しています。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか。	6		・子どもによってわかりやすさが違うため、その都度必要に応じて対応している。 ・ロッカーや座席等の色分け、仕切り等を利用している。	・事業所がある施設内はバリアフリー化されています。また、利用者の状況に応じ、適切な環境整備をするよう心掛けています。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		・運動遊びでは多少の狭さはあるが、最大限活動しやすいように工夫している。	・清潔な空間に保つため、室内や物品のこまめな拭き取り掃除などを行っています。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		・職員会議や個別に取り組んでいる。	・日々の支援の振り返りは、随時職員間で行っています。今後も継続して情報共有し、業務改善につなげていきます。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	6		・今年度より実施。	・アンケート調査での結果を職員間で話し合い、今後の業務改善へつなげていきます。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。	6		・今年度より実施。	・自己評価結果は、上ノ国町のホームページにて公開します。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	1		・外部機関からスタッフを招き、支援の適正を評価してもらっていますが、事業所全体の外部評価は実施していません。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか。	6			・随時研修会などに参加し、資質向上を目指しています。
	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6			・事業所内で共通のアセスメントシートを用いて評価をし、子どもや保護者のニーズに沿った計画を作成しています。

適切な支援の提供	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	5	1		・事業所内で共通のアセスメントシートを使用しています。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6			・利用者の年齢や発達段階、個人の特性に応じた支援内容を盛り込むよう心掛けていますが、ガイドラインを意識した内容かという視点については十分でない部分もあります。ガイドラインの視点を取り入れつつ、適切な支援内容を設定できるよう努めます。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか。	6			・支援内容などを確認し、児童発達支援計画に沿った支援が行われるよう心掛けています。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6			・職員間で情報を共有しながら、活動プログラムを立案しています。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		・過去の個別記録などを振り返り、活動プログラムが固定化しないようにしている。 ・継続して取り組んだ方が良いと思われる活動については、繰り返し実施する場合があります。	・日々、利用者の状況や人数に応じて、随時プログラムの見直しを行い、支援しています。 ・安全に、楽しい時間を過ごしていただけるよう、活動プログラムを工夫していきます。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか。	6			・子どもの状況などを考慮して組み合わせを決定し、児童発達支援計画を作成しています。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	6		・打ち合わせの時間を設定しているわけではないが、自然と職員間で話し、振り返っている。	・支援前に職員間で確認を行っています。 ・支援後には、その日気付いた点などを話し合い、職員間で情報を共有しています。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6			・日々の支援の様子を、行動記録として毎回記入し、支援の検証・改善につなげています。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6			・6ヶ月ごとにモニタリング、アセスメントを実施し、計画の見直しをしています。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか。	6			・児童発達支援管理責任者及び担当指導員が会議に参画しています。
	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。	6			・必要に応じてケース会議などを実施し、情報交換などを行っています。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか。	6			

関係機関や保護者との連携	⑳	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか。	5	1	・現在対象となる子は 在籍していない。	・現在、医療的ケアが必要な子どもの利用がないため、専門職員の配置はしていません。 ・今後、通所を希望される場合には随時対応を検討していきます。
	㉑	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか。	5	1	・現在対象となる子は 在籍していない。	
	㉒	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		・必要に応じて行っている。	・移行支援は実施していませんが、必要に応じてケース会議などを実施し、情報交換などを行っています。
	㉓	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		・必要に応じてケース会議等を実施している。	
	㉔	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	5	1		・研修会に参加したり、個別のケースに対する助言をいただくなど、専門機関と連携を図りながら日々の支援を実施しています。
	㉕	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか。	4	2		・上ノ国高校ボランティア局の生徒との交流を実施しています。日程や時間帯の都合上、交流の機会を確保できない場合もありますが、今後も継続していく予定です。
	㉖	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	5	1		・児童発達支援管理責任者が出席しています。
	㉗	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6			・送迎時や個別懇談時に保護者の方とお話をさせていただき、子どもの状況や課題について共通理解ができるよう努めています。
	㉘	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか。	4	2	・家庭での取り組み方法等を一緒に考え提供をしている。 ・場合によっては各町の保健師を含め話し合いを行い支援している。	・今後は、保護者向けの学習会などの開催を検討していきます。
	㉙	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			・利用前面談、契約時に丁寧な説明を心掛けていますが、ご不明な点がございましたら、随時スタッフにお申し出ください。改めて説明をさせていただきます。

保護者への説明責任等	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6			・ガイドラインを示すことはしていませんが、児童発達支援計画の支援内容は保護者に説明をし、同意を得ています。
	③④	定期的に保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	6			・育児に関する相談などにつきましては、随時対応させていただきますので、お申し出ください。
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。	2	4	・父母を中心とした茶話会を実施していたが、参加人数が少なく、開催自体なくなってしまった。	・夏祭りを実施し、子どもと保護者の交流の機会を設けましたが、年に1度の開催のため、十分な機会の確保とはなりませんでした。 ・今後は、茶話会など、交流の機会を増やしていくよう努めます。
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		・家庭訪問や学校訪問は、内容によってはすぐに動ける体制を整えている。	・苦情・相談窓口を設置し、迅速かつ適切に対応させていただきます。 ・対応の体制については、契約書の重要事項説明書に記載し、療育室前にも掲示しています。
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6			・月に1度お便りを発行し、毎月の行事などをお知らせしています。
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意しているか。	6			・個人が特定できる名前などが記載してある物の取扱には十分注意をしています。
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			・状況に応じて視覚的情報などを活用して、意思の疎通や情報伝達に努めています。
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	2	・特に地域住民を招待する事業は実施していない。 ・上ノ国高校のボランティア部の生徒と関わる機会を設けているが、時間の都合上幼児の療育には参加出来ない。	・地域住民を招待するような事業は予定していませんが、散歩に出掛けた際には挨拶をしたり、町内のお店で買い物をするなどを継続していきます。
	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		・マニュアルを策定している。	・保護者への周知が十分ではなかった部分がありますので、今後は保護者への周知の方法を工夫していきます。
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		・幼児の避難訓練は、職員の動きの確認のみとしていた。 ・職員の研修としては、応急処置及び救命講習を実施している。	・子どもの状況に配慮しながら、避難訓練の実施や動きの確認などを継続していきます。

災害時等の対応	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6		・通所時、個別懇談等にて確認している。	・保護者からの聞き取りを徹底していきます。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がなされているか。	5	1	・保護者からの聞き取りを徹底している。	・保護者からの聞き取りをした結果を職員間で共有し、おやつを提供する際には再度確認をしています。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。	2	4	・ヒヤリハット事例集は作成していない。	・事例集の作成はしていませんが、日々の振り返りなどで職員間で情報を共有し、確認しています。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			・職場内で学習会を開催したり、虐待防止チェックリストを用いた評価などを行っています。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3	3	・現在対象となる子は在籍していない。	・対象児がいる場合にのみ対応しています。

○ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。